

授業科目	臨床健康心理学				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	NU11117J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP2-1			
担当教員	水貝 洵子							
授業概要	<p>からだところの健康を支援するうえで基盤となる心理学の基礎知識や、病を抱えながら生活することに対する心理学的な理解や支援の在り方について解説を行う。</p> <p>事例などを紹介しながら、患者や家族の立場に寄り添う支援について検討していく。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 臨床健康心理学の目的や課題について正しく理解し、説明することが出来る。</p> <p>2. 臨床健康心理学の基盤となる理論の考え方について正しく理解し、説明することが出来る。</p> <p>3. 心理学の基礎知識をもとに、心理的支援の在り方を考えることが出来る。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	70	0	30	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	30		30				60	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	40						40	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
臨床健康心理学の基礎となる理論や概念について正しく理解し、適切に説明することが出来る。 臨床心理学的なアプローチの考え方や支援過程について理解し、説明することが出来る。 臨床健康心理学で学んだ知識を、臨床実践において、どのように活かすことができるか整理し参考にすることが出来る。				臨床健康心理学の基礎となる理論や概念について正しく理解し、適切に説明することが出来る。 臨床心理学的なアプローチの考え方や支援過程について理解し、説明することが出来る。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:オリエンテーション 授業のオリエンテーションを行う。その後、臨床健康心理学の特徴や歴史などについて解説を行う。	講義 小レポート	該当箇所の復習	60
2	テーマ:臨床心理学基礎1 患者の心理の理解や心理的援助の基礎として、臨床心理学の基礎知識について解説する。主に精神分析や来談者中心療法の考え方について解説する。	講義 小レポート	該当箇所の復習	60
3	テーマ:臨床心理学基礎2 患者の心理の理解や心理的援助の基礎として、主に行動療法や認知行動療法の考え方について解説を行う。	講義 小レポート	該当箇所の復習	60
4	テーマ:臨床心理学基礎3 患者の心理の理解や心理的援助の基礎として、主に心理アセスメントの方法について解説を行う。	講義 小レポート	該当箇所の復習	60
5	テーマ:臨床心理学的基礎4 心の健康に関する概念や、心の健康へ影響を与える要因について解説する。また、心とからだの相互的な関係についても説明する。	講義 小レポート	該当箇所の復習	60
6	テーマ:患者の心理1 病気(障害)の受容プロセスや病いを経験する時に起こる心理的反応について解説する。	講義 小レポート	該当箇所の復習	60
7	テーマ:患者の心理2 ライフサイクルに着目し、患者の心理特徴について解説する。	講義 小レポート	該当箇所の復習	60
8	テーマ:病気と付き合いながら自分らしく生きることを支える 事例の紹介を行いながら、患者やその家族の心に寄り添う支援について検討を行う。	講義 小レポート	該当箇所の復習	60
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	看護学や心理学の基礎知識			
テキスト	指定しない			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	野口普子(編集)野口普子・矢澤美香子・成澤知美・佐々木洋平・吉田卓矢・遠藤香(著) (2017).「看護と倫理 患者の心理 第3版」メヂカルフレンド社.			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	様々な疾患や障害について、症状に関する医学的理解だけでなく、症状を抱えながら生活していくことを想像し理解しようとする姿勢をもって受講すること。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	試験および小レポートの内容については、講義の中で指示する。 小レポートを通じて出された授業内容に関する質問やコメントは、適宜授業内で紹介をして回答を示す。			

